

地区総合防災訓練

水害を想定した図上訓練を実施します

近年毎年のように全国各地で台風、集中豪雨があり、想定を超えた河川氾濫等による甚大な被害が多発しています。

国土交通省では主要河川水系の浸水想定区域図を、想定しうる最大規模の降雨で見直しを行い公表しました。

また、堤防の決壊に伴う氾濫流等により家屋の倒壊等のおそれがある区域（家屋倒壊危険区域）も公表しています。

**あなたの地区の状況や対策はどうでしょうか？
皆で考えてみましょう**

日時 平成28年9月11日(日) 9時～12時
場所 大正地区体育館（ふなもとクリニック裏）

訓練内容

【説明会】

浸水想定区域図等の説明

国土交通省鳥取河川国道事務所職員

情報提供（避難勧告・指示）等の説明

鳥取市危機管理課職員

【図上訓練】

地区ごとに分かれ、地図を用いてグループによる図上訓練

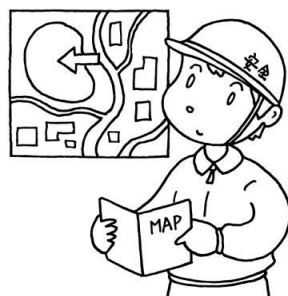
危険箇所、避難先、情報収集・伝達方法、避難方法等

【防災グッズ、保存食の展示】

各地区から10名以上の参加をお願いします。

小(5年生以上)・中・高生の参加も是非お願いします。

駐車スペースが限られますので、乗り合わせ、近い方は徒歩での来場をお願いします。



ほっとヨイ！ヨイ！夏まつり タベの涼を楽しむ



7月30日(土)大正地区公民館駐車場でほっとヨイ！ヨイ！夏まつりを開催し、約600人の人出でにぎわいました。

祭り開始前、ヤマメのつかみ取りでは、子どもたちが簡易プールに放されたヤマメ200匹の捕獲に奮闘していました。

午後6時、まちづくり協議会西根俊一会長の挨拶に続き、恒例となった大正保育園児と大正児童有志によるじゃんじゃん傘踊りがオープニングを飾りました。

6時20分頃から各バザーコーナーが販売を開始、子どもたちに人気のヨーヨーつり、スーパーボールすくい、かき氷、くじ引きがあり、食べ物コーナーでは、焼そば、フライドポテト、フランクフルト、やまめの塩焼き、やきとり、枝豆、ビール・ジュース類そして小学生手作りのうどんの販売もありました。

また、当地区の有志で構成された「さくら会」の皆さんによる踊りと「高校生バンド」による演奏が祭りの雰囲気を一層盛り上げ、皆思い思いに夕のひと時を楽しんでいました。

祭りも最高潮の中、古田区長会長の抽選で大抽選会を行い、最後は花火で名残を惜しみながらの夏まつりの閉会となりました。

各種団体、各自治会のご協力いただいた皆様には、猛暑の中、会場設営からバザーの準備、販売と休む間もなく大変なご尽力をいただいたお陰で祭りを盛況のうちに終えることができました。心からお礼申し上げます。



大正地区 地域づくり懇談会

市長はじめ市幹部職員と地区民が意見交換

8月17日（水）午後7時から大正地区公民館で市が開催する大正地区地域づくり懇談会が開催され、地区民35名が参加しました。

懇談会は地区から提出された課題等についての説明に続き、フリートークの形で意見交換が行われました。提出課題に対する市回答の概要は次のとおりです。

懇談会の詳細は、議事録として後日整備され、市のホームページ等で公開されます。

○前回（26.9.30）の地域づくり懇談会で、暗幕、ステージ幕設置の必要性について説明し、教育長から「予算の範囲内での優先順位を考えながら、今後学校と協議した上で設置を検討していきたい。」との回答を得ているが、検討結果が地区に示されていない。

いつまでもこの状態が続くのは教育上また、地域活動に支障をきたすので、地区としても何らかの対策を講じなければならないと考えているところである。

緞帳まで希望するものではないが、設置の可能性について再度お尋ねしたい。

○前回の懇談会で、第9次総合計画における整備予定について説明があったが、第10次総合計画に基づく大正地区の整備計画はどのようになっているか。

関連して、下水道整備の遅れにより、古海工業団地内から灰色の汚水が農業用水路に放出され千代川に流れ出ている現状がある。小魚の死骸が浮いたり、まったく生物が住めない水路と化しており、農作物への被害や千代川下流域を含めた住民の健康被害を引き起こす恐れがないとは言えない。

鳥取市には、污水検査及び汚水流出防止を講ずるなど、住民の不安を解消して安全安心な暮らしができる地域としての対策をお願いしたい。



【市回答】暗幕等については、体育館の設置時に設置をしておりますが、その後の経年劣化による破れや落下のため、取り外している学校もあります。そのような中、PTAや同窓会など地域の方々で設置している例もあります。

大正小学校体育館の暗幕設置については、学校からの営繕要望を踏まえ協議を行った結果、平成28年10月26日に本校で開催されます鳥取市小学校教育研究会発表大会までに設置を計画しています。

【市回答】第9次総合計画、第10次総合計画につきましては、ともに市街化区域や水質保全上重要な地域を中心に下水道整備を推進する計画としています。

大正地区の下水道整備方針としては、まず国体道路北側を、古海、徳尾、緑ヶ丘の3つの区域に分け、それぞれの区域ごとに順次整備を進めるようにしています。

下水道整備に際しては、主に生活道路での工事となることから、過度の交通規制が生じないように工事区間を設定し整備を進めています。

【市回答】【関連】古海工業団地内の水質汚濁について、数回にわたり現地を確認しましたが、異常は確認できませんでした。

今後、水質汚濁の状況を現地で確認し、採水、水質調査を行ったうえで原因と思われる事業所に指導を行いたいと思いますので、汚濁が認められるような場合には、生活環境課へ通報していただきますようお願いします。

○平成29年度に公民館施設の耐震工事が計画されている。

現公民館施設は地区の人口規模に対して100人程度の集会在限度と狭隘で倉庫もなく、また集会用部屋は2階にあるため特に高齢者にとっては使い勝手が悪く、その上に予定される耐震工事でさらに利用が制限されるスペースも生じると思われる。

新築される地区公民館がある中、当地区公民館は大きな経費を掛けて耐震工事が行われるが、将来の建替え計画の有無等についてお尋ねしたい。



この他に、次の事項についても説明や意見交換等がありました。

○市からの説明

- ・平成30年4月 鳥取市は中核都市へ
- ・第10次鳥取市総合計画

○地区からの要望・質問等

- ・旧大正保育園園庭の地区利用について
- ・地区体育館の照明灯の球切れ対応等について
- ・鳥取市新庁舎整備の進捗状況について

【市回答】現在本市が取り組んでいる地区公民館の改修は、耐震性に問題のある建物を緊急の課題として順次整備を行っているもので、大正地区公民館については、平成29年度に耐震補強と機能改善を図る工事を予定しています。

耐震改修は建物が倒壊する恐れを防ぐためのものであり、建物の耐久性や老朽化が改善されるものではありませんので、まずは、危険性の高い施設について緊急的に安全性を確保し、引き続き建物の建築年や老朽度を見極めながら、「公共施設の再配置基本計画」も踏まえ、地区公民館全体の更新を計画的に進めることとしています。

